

いらなくなった服は回収ボックスを 使って欲しい

なぜ調べようと思ったか

私はファッションや洋服に興味を持っていて、今着ている服はいらなくなったり着れなくなったりしたらどうすればいいか正解を知りたかったからと、世界にも今私が着ている服は届くのか知りたかったからです。処理されているのかりサイクルとかをしているのか、とても気になったからです。

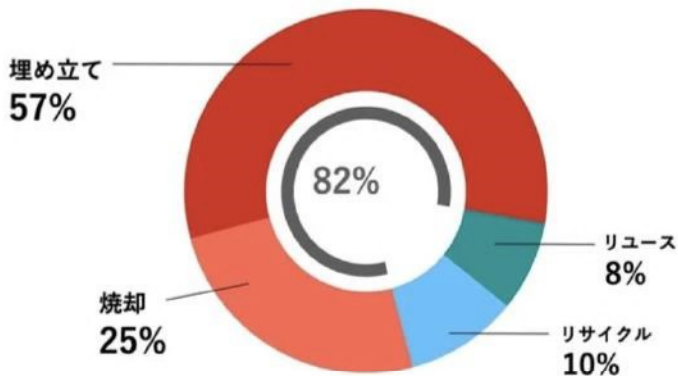
回収ボックスとは

洋服屋さんやスーパーなどにあるのが回収ボックスです。買取などではなく不要になった服を回収してくれるところで回収した服は最利用されたり世界の貧困層の国に届けられたりします。世界には着る服すらない人もたくさんいるので回収ボックスに出すというのも捨てるより良いということです。

貧困層（ひんこんそう）とは

貧困層とは、正確には相対的貧困層と呼ばれており、厚生労働省が公表している相対的貧困率の算出方法から等価処分所得の中央値の半分に満たない世帯と定義づけされています。





このグラフを見ると、全体の82%が埋め立てと焼却で18%がリユースとリサイクルとなっています。こうして見るとリユースとリサイクルがとても少なく感じます。

まとめ

回収した服は、貧困層の国に届けられる。貧困層は正確には、相対的貧困層と呼ばれている。上のグラフでリユースとリサイクルが少ないことがわかった。

参考文献

<https://meetsmore.com/services/unwanted-item-pick-up/media/10318> 最終更新日: 2019年10月29日 ミツモア Media

https://gooddo.jp/magazine/poverty/asia_poverty/japan_poverty/2020年3月5日 2021年2月16日 日本（貧困）

https://www.worldvision.jp/children/poverty_17.html 貧困層とは？世界の貧困層の定義と割合を調べよう

<https://note.com/forfashionfuture/n/n6482f179a9a9ForFashionFuture2019/07/29> 18:04

https://www.irasutoya.com/2015/12/blog-post_99.html イラストや

振り返り

私は服について調べました。調べる前は服のことについて全然しなかったけど調べてみて服がどこに行くのかや、貧困層についても知ることができました。私は、回収ボックスを使ったことがないけど使ってみたいと思ったし、服のボランティアにも参加したいと思いました。もっとみんなに貧困層についてや回収ボックスについてのことを知って欲しいと思いました。